

科目	家庭基礎	単位数	2	学年	1	学級	A~I 取り出し (G)	学科	普通科 国際教養科
----	------	-----	---	----	---	----	--------------------	----	--------------

学習の到達目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。
使用教科書 副教材等	家庭基礎 ともに生きる、明日をつくる 教育図書 新カラーチャート 食品成分表 教育図書

学期	月	学習項目	学習内容の説明
前期	4	I ともに生きる(人のつながりと福祉) 第1章 人の一生と家族	①高校生の立場から家族・家庭を考え、それに伴う問題について、グループ毎に新聞製作を行い、発表する。
	5	II 明日をつくる(快適な生活と環境) 第2章 衣生活 1 衣生活を考える	①自分の衣生活を見つめ直し、衣服を着る意味を理解する。 ②平織りを実習し三原組織について知る。
	6	2 衣服の材料を知ろう(平織り作り) 3 刺繍製作	③衣服の手入れや管理を学び、実生活に生かす。 ④実用的な小物製作をする。
	7	第1章 食生活 1 食生活について考えよう	①食事の必要性を考え、食べ物と栄養素の基礎を身につける。
	8	2 栄養と食品	②栄養素の必要量を知り栄養のバランスと献立を考える。
	9	3 食品の選択と安全性 4 献立と調理 *ホームプロジェクトと学校家庭クラブ	③調理実習を通して、調理の基本と食品の取り扱いについて身につける。
		第5章 環境 1 私たちのくらしと環境問題	①ホームプロジェクトと学校家庭クラブについて理解する。 ①身近な問題を通して環境問題を考える。
後期	10	I ともに生きる(人のつながりと福祉) 第3章 高齢者 1 高齢社会について 2 高齢期の特徴 3 超高齢社会の課題	①高齢社会の現状を理解する。 ②体験学習を通して高齢者について理解を深める。 ③高齢者の生活と支える仕組みについて理解する。
	11	第2章 保育 1 子どものすこやかな育ちを知ろう	①出産と乳幼児の特徴(発達・生活)を知る。 ②乳幼児の生活を理解する。
	12	2 子どものくらしと親のかかわり 3 子どもの福祉を考えよう	③親の役割と子どもの福祉について理解する。
		II 明日をつくる 第3章 住生活 1 住まいについて考えよう 2 住空間を計画しよう 3 快適な住まいについて考えよう 4 これからの住生活と環境	①日本の家屋について理解する。 ②住まいの機能について基礎的なことを理解し、健康・住宅環境について理解する。 ③住空間の構成を学び、快適な住まいについて考える。
	1		
	2	第4章 消費生活 1 消費者としての生活を知ろう	①経済的自立のために、消費者としてのあり方を考える。 ②クレジットカードのしくみや使用上の注意点を学ぶ。 ③契約について理解する。 ④悪質商法などを含め、消費行動について考える。
	3		
		I ともに生きる(人のつながりと福祉) 第4章 共生社会<課題研究発表>	①各自テーマを設定して学習し、レポートにまとめて発表する。
評価の観点及び評価の方法	関心・意欲・態度	積極的に自分の意見が表現できているか。忘れ物や遅刻をしないで授業に参加できているか。実習や実験などに前向きに取り組み、授業内で完了できているか。	
	思考・判断・表現	レポート提出などで、自分の意見をまとめ考えを述べられるか。問題意識をもって日常生活を送り、自分自身の生活を主体的に改善しようと努力しているか。	
	技能	技術的的確に習得し、実習を行うことができるか。また実生活に生かすことができているか。ディベートや発表で自分の意見を表現し、人に伝えられるか。	
	知識・理解	現代社会の問題を理解し、自分の生活に投影し知識を生かせる力を持てたか。生活に必要な知識を理解できたか。	
	評価方法	定期考査、プリント等提出物、製作提出物、授業への取り組み状況などを総合的に評価する。各項目の比重は前・後期で異なる。	
担当教諭から	毎時間のように提出物があるので欠席をしないようにしてください。実習等はグループで実施します。協力を心がけてください。また実習室への移動は速やかにお願いします。		